



タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3616		
科目名	アダプテッド・スポーツ演習		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 1		
講義室	1407	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4 - F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP5 - J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP7 - C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP7 - L〔協働力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 F1 探究と論拠 ― 20% F2 課題解決 ― 20% J1 継続的学修基盤 ― 15% J2 創造的思考 ― 15% C1 倫理的思考・社会認識 ― 15% L1 チームワーク ― 15%		
教員の実務経験	2010年から日本パラ陸上競技連盟強化委員として、障がいのある選手に対するサポート事業に携わってきました。2012年のロンドンパラリンピックには、重度視覚障がい短距離選手のガイドランナーとして参加しました。2016年のリオデジャネイロパラリンピックには日本代表競技役員（コーチ）として参加しました。2017年にはカンボジアの第1回障がい者陸上競技大会の開催にも携わりました。その他の国際競技会にも選手帯同し、様々な国における障がいのある人たちが行うスポーツを観察してきました。国内においては、日本スポーツ振興センターや東京都障がい者スポーツ協会主催の発掘事業、関東地区のパラ陸上競技の普及振興にも協力してきました。障がいのある選手のみならず、多くの人がスポーツを行うためには、身近に活用できる施設・環境が整備されていることの重要性和それらの人たちを支援する人的資源の確保が重要であることも認識してきました。これらの経験を踏まえ、学生が実社会で役立てられるような考えを養えるよう本科目を展開していきます（第1回から15回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本授業では、アダプテッド・スポーツで学修した知識を基に、アダプテッド・スポーツに関わる指導者やトレーナーに必要なコーチング方法論や留意事項について、指導現場での実践を通じて学習します。また、アダプテッド・スポーツ選手の運動能力について、実際に評価や測		

	定を行い、そのデータについての見方、表現方法などを理解することを目的とします。授業形態は、講義と調査・研究及びプレゼンテーションを中心とした演習（実技含む）により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ※アダプテッド・スポーツ（adapted sports）とは、障がいのある人や高齢者、体力の低い人などがスポーツを行う際に、ルールや器具をその人に適合させてスポーツを展開させるものです。 ■キーワード：アダプテッド・スポーツ、障がい者スポーツ、パラリンピックスポーツ、コーチング	
授業の趣旨	■副題 アダプテッド・スポーツを通して、人間の可能性について考えよう。 ■授業の目的 本授業の目的は、受講生がアダプテッド・スポーツに関する基本的な知識と実践力を基礎とし、より専門的な指導ができるように応用力や課題発見能力を修得することです。このために、アダプテッド・スポーツに関する国内外の科学的な研究成果や実践事例等を取り上げながら、障がいのある人などの特性を十分に理解したコーチング方法論やマネジメント論を総合的かつ体系的に学べるよう授業を実施します。 ■授業のポイント アダプテッド・スポーツの授業で学修した内容を発展させるために、社会の状況を鑑み、アダプテッド・スポーツを創り出すことに取り組みます。その際、対象者の状況を正確に捉え、スポーツを行うための環境や条件をどのように整えて行けば良いか、考えを巡らせます。成功事例を抽出し、それらを実践してみることも、重要な学びとなります。対象者にアダプテッド・スポーツを提供していけるような姿勢を養っていきます。	
総合到達目標	■障がいのある人を含め、様々な人がスポーツを実施できる環境や方法を提供するために、アダプテッド・スポーツで学修した内容を踏まえ、対象者に応じたアダプテッドスポーツを考案する能力を修得する。 ・障がいのある人や高齢者、体力の低い人たちがスポーツを楽しむためには、それらの人々を取り巻く環境など複合的かつ多様な要因が上手に重なり合うことが重要であることを事例を挙げて説明できる。【知識】（第1回から第15回） ・障がいのある人や高齢者、体力の低い人に限らず多くの人が「同じスポーツ」に参加できるよう、様々な（少しの）工夫を凝らすための提案や取りまとめができる。【態度】（第2回から10回） ・障がいのある人や高齢者、体力の低い人たちがスポーツを楽しむために、それらの人々を取り巻く環境など複合的かつ多様な要因を上手に関係づけられるようコーディネートすることができる。【態度】（第2回から10回） ・様々なアダプテッド・スポーツをコーチングできる。【技能】（第2回から第14回）	
成績評価方法	■授業シート10回（50%）：適用ルーブリック F1・F2・J1・J2・C1・L1 （評価の観点）障がいのある状態を捉え、その特徴を踏まえた指導や支援を行うことができたか、その際、自身がどのような意図を持って行ったのか、実践する時の課題が整理されているかを確認します。 （フィードバックの方法）教員が確認し、コメントを添えて返却します。 ■ディスカッション4回（50%）：適用ルーブリック F1・F2・J1・J2・C1・L1 （評価の観点）グループ内で、アダプテッド・スポーツを実施するためのトータルマネジメントの観点から議論が展開され、考えが共有されているか確認します。 （フィードバックの方法）ディスカッションの結果がまとめられたディスカッションシートに教員がコメントを添え、返却します。	
履修条件	「アダプテッド・スポーツ SCS 2323」（2年次前学期/後学期配当）を履修していることが条件です。	
履修上の注意点	日本障がい者スポーツ協会公認 初級障がい者スポーツ指導員資格の取得を希望する学生は、必要科目となります。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの考え方（ガイダンスと復習を含む） ②授業概要 本授業の目的・方法などを説明するガイダンス的内容を中心とし、担当教員の実務経験を踏まえて「アダプテッド・スポーツ」の授業内容を説明できるようになる（F1、J1）。また、障がいのある人など、対象者の状態に応じた指導の事例を通して、コーチング上の留意点を説明できるようになる（F1、J1）。 ③予 習（120分） 2年次の「アダプテッド・スポーツ」の授業内容を復習するために、授業ノートや評価シートなどを十分に読み返してくる。

	④復 習 (120分) 授業内配布資料を熟読する。
2	①授業テーマ アダブテッド・スポーツの実践 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、安全に十分留意しながら、アダブテッド・スポーツを実践する (J1、J2、C1、L1)。その中で、実施者として個人スポーツと集団スポーツの違いを意識し、仮に指導者の立場となったことを想定して、どのようなことに注意しなければならないのかを考えられるようになる (F1、F2、C1、J1、J2)。指導者やコーチとして捉えた視点を授業シート (実践や観察内容の記入用紙) に記入しながら説明できるようになる (J1、J2、C1)。 ③予 習 (120分) 第1回目の授業で配布された資料及びアダブテッド・スポーツの授業で返却した授業シート類を熟読してくる。 ④復 習 (120分) 授業シートを見返し、まとめを記入する (次週提出)。
3	①授業テーマ アダブテッド・スポーツの指導と支援 (視覚障がい) ① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、視覚障がいのある人も含めて実施できるスポーツを考案するために、グループに分かれ予習内容を元に、グループワーク形式にてディスカッションできるようになる (F1、F2、J1、J2、C1、L1)。その際、視覚障がいのある人の事例を共有しながら議論を進められるようになる (F2、J2、C1)。コーチや指導者などの立場に立ち、視覚障がいのある人に対するコーチング方法論を検討できるようになる (F1、F2、J1、J2、C1、L1)。 ③予 習 (120分) 第3回予習シート (2ページ分) の各項目を記述してくる。 ④復 習 (120分) 授業シートを整理し、今回の授業を振り返り、コーチング指導案を作成するための準備を行う。
4	①授業テーマ アダブテッド・スポーツの指導と支援 (視覚障がい) ② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回のグループワークでのディスカッションを踏まえ、グループ毎に考案した視覚障がいのある人も含めて実施できるスポーツを実際に行いながら再検討できるようになる (F1、F2、J1、J2、C1、L1)。視覚障がいの特性を理解したコーチング方法やマネジメント方法について説明できるようになる (F2、J2、C1)。コーチや指導者として捉えた視点を授業シート (実践や観察内容、工夫等の記入用紙) に記入しながら説明できるようになる (F1、F2、J1、J2、C1、L1)。 ③予 習 (120分) 第3回目の授業で記入した内容を基に、コーチング指導案を作成してくる。 ④復 習 (120分) 授業シートを見返し、うまくできた事、改善が必要な事等、各自まとめを記入してくる。
5	①授業テーマ アダブテッド・スポーツの指導と支援 (視覚障がい) ③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループ毎に考案した視覚障がいのある人も含めて実施できるスポーツを、実際に視覚障がいのある人を交え実施できるようになる (F1、F2、J1、J2、C1、L1)。実際に視覚障がいのある人からフィードバックを得て、良かった事や改善する事等を授業シートにまとめることができる (F2、J2、C1)。コーチや指導者などの立場に立ち、視覚障がいのある人に対するコーチング方法論を検討できるようになる (F1、F2、J1、J2、C1、L1)。 ③予 習 (120分) 第4回目の授業に向け作成してきたコーチング指導案をブラッシュアップし、その内容をブラッシュアップシートに記入してくる。 ④復 習 (120分) 授業シートを整理し、今回の授業を振り返り、プレゼンテーションの準備を行う。
6	①授業テーマ アダブテッド・スポーツの指導と支援 (視覚障がい) ④ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回までの実践内容を踏まえたグループディスカッ

	ションを行い、その内容を模造紙にまとめる。グループ毎に考案した視覚障がいのある人も含めて実施できるスポーツをプレゼンテーションできるようになる（F1、F2、L1、J1、J2、C1）。これまでの内容を総合的にまとめ、コーチング計画を完成させる（コーチング計画シートに記入する；F1、F2、J1、J2、C1）。 ③予 習（120分） 第5回目の授業がまとめられた動画を閲覧し、プレゼンテーション準備シートに気づいた事を整理してくる。 ④復 習（120分） コーチング計画シートを完成させる。
7	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの指導と支援（肢体不自由・内部障がい）① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人も含めて実施できるスポーツを考案するために、グループに分かれ予習内容を元に、グループワーク形式にてディスカッションできるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。その際、下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人の事例を共有しながら議論を進められるようになる（F2、J2、C1）。コーチや指導者などの立場に立ち、下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人に対するコーチング方法論を検討できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。 ③予 習（120分） 第7回予習シート（2ページ分）の各項目を記述してくる。 ④復 習（120分） 授業シートを整理し、今回の授業を振り返り、コーチング指導案を作成するための準備を行う。
8	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの指導と支援（肢体不自由・内部障がい）② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回のグループワークでのディスカッションを踏まえ、グループ毎に考案した下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人も含めて実施できるスポーツを実際に行いながら再検討できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。下肢障がいの特性を理解したコーチング方法やマネジメント方法について説明できるようになる（F2、J2、C1）。コーチや指導者として捉えた視点を授業シート（実践や観察内容、工夫等の記入用紙）に記入しながら説明できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。 ③予 習（120分） 第7回目の授業で記入した内容を基に、コーチング指導案を作成してくる。 ④復 習（120分） 授業シートを見返し、うまくできた事、改善が必要な事等、各自まとめを記入してくる。
9	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの指導と支援（肢体不自由・内部障がい）③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループ毎に考案した下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人も含めて実施できるスポーツを、実際に下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人を交え実施できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。実際に下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人からフィードバックを得て、良かった事や改善する事等を授業シートにまとめることができる（F2、J2、C1）。コーチや指導者などの立場に立ち、下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人に対するコーチング方法論を検討できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。 ③予 習（120分） 第8回目の授業に向け作成してきたコーチング指導案をブラッシュアップし、その内容をブラッシュアップシートに記入してくる。 ④復 習（120分） 授業シートを整理し、今回の授業を振り返り、プレゼンテーションの準備を行う。
10	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの指導と支援（肢体不自由・内部障がい）④ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回までの実践内容を踏まえたグループディスカッションを行い、その内容を模造紙にまとめる。グループ毎に考案した下肢障がいのある（日常生活で車いすを使用している）人も含めて実施できるスポーツをプレゼンテーションできるようになる（F1、F2、L1、J1、J2、C1）。これまでの内容を総合的にまとめ、コーチング計画を完成させる（コーチング計画シートに記入する；F1、F2、J1、

	J2、C1)。 ③予 習 (120分) 第9回目の授業がまとめられた動画を閲覧し、プレゼンテーション準備シートに気づいた事を整理してくる。 ④復 習 (120分) コーチング計画シートを完成させる。
11	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの指導と支援（最重度障がい）① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、最重度障がいのある（障がい重複している）人も含めて実施できるスポーツを考案するために、グループに分かれ予習内容を元に、グループワーク形式にてディスカッションできるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。その際、最重度障がいのある（障がい重複している）人の事例を共有しながら議論を進められるようになる（F2、J2、C1）。コーチや指導者などの立場に立ち、最重度障がいのある（障がい重複している）人に対するコーチング方法論を検討できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。 ③予 習 (120分) 第11回予習シート（2ページ分）の各項目を記述してくる。 ④復 習 (120分) 授業シートを整理し、今回の授業を振り返り、コーチング指導案を作成するための準備を行う。
12	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの指導と支援（最重度障がい）② ②授業概要 担当教員の実務経験と、前回のグループワークでのディスカッションを踏まえ、グループ毎に考案した最重度障がいのある（障がい重複している）人も含めて実施できるスポーツを実際に行いながら再検討できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。最重度障がい（重複障がい）の特性を理解したコーチング方法やマネジメント方法について説明できるようになる（F2、J2、C1）。コーチや指導者として捉えた視点を授業シート（実践や観察内容、工夫等の記入用紙）に記入しながら説明できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。 ③予 習 (120分) 第11回目の授業で記入した内容を基に、コーチング指導案を作成してくる。 ④復 習 (120分) 授業シートを見返し、うまくできた事、改善が必要な事等、各自まとめを記入してくる。
13	①授業テーマ アダプテッド・スポーツの指導と支援（最重度障がい）③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回までの実践内容を元にしたグループディスカッションを行い、その内容を模造紙にまとめる。グループ毎に考案した最重度障がいのある（障がい重複している）人も含めて実施できるスポーツをプレゼンテーションできるようになる（F1、F2、L1、J1、J2、C1）。これまでの内容を総合的にまとめ、コーチング計画を完成させる（コーチング計画シートに記入する；F1、F2、J1、J2、C1）。 ③予 習 (120分) 第12回目の授業がまとめられた動画を閲覧し、プレゼンテーション準備シートに気づいた事を整理してくる。 ④復 習 (120分) コーチング計画シートを完成させる。
14	①授業テーマ 全国障害者スポーツ大会及びパラリンピックにおける実施競技とコーチング方法論 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、競技大会に出場する競技者を支援する取り組みや指導事例についての学術的な研究成果を取り上げ、その内容から、コーチングやチームマネジメントに関する課題などを説明できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。 ③予 習 (120分) これまでの授業内容を振り返り、予習シートの各項目に予習内容を記述してくる。 ④復 習 (120分) 授業シートを整理し、今回の授業を振り返ってくる。
15	①授業テーマ アダプテッド・スポーツ演習のまとめ

	②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、アダプテッド・スポーツ演習の授業で学んできた内容を総合的かつ体系的に説明できるようになる（F1、F2、J1、J2、C1、L1）。 ③予習（120分） これまでの授業内容を総合的に見返し、予習シートの各項目に予習内容を記述してくる。 ④復習（120分） これまでの授業シートを整理し、今後の自身の考えを整理し記述する。
関連科目	「アダプテッド・スポーツ SSCS 2323」（2年次前学期/後学期配当）
教科書	障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級）、（公財）日本障がい者スポーツ協会／編、ぎょうせい（2020/03）、ISBN 978-4-324-10803-1
参考書・参考URL	アダプテッド・スポーツの科学―障害者・高齢者のスポーツ実践のための理論、市村出版（2004/10）、ISBN 978-4-902109-01-6
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日の4時限目と水曜日の5時限目に設定しています。指定時間以外でも対応しますので、その際には予め、アポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

